

「平成27年度 土木施工管理技士に関するアンケート調査結果」について

1. はじめに

(一社)全国土木施工管理技士会連合会では、技士会会員が技術者として日頃感じていることをアンケート形式で定期的に調査収集しており、これまで3年ごとに4回(15年・18年・21年・24年)実施、今回は5回目で回答者数は2,503名でした。

2. 調査内容

設問については、1)回答者の属性、2)技士会活動に関して、3)工事発注に関して、調査を実施しました。

3. 調査結果

1)回答者の属性：回答者は40歳～60歳代が多く、ほとんどの方が1級施工管理技士資格を有し、経験年数は30年以上の熟練技術者が多かった。今回、昨今の女性技術者の活躍を踏まえ、性別について設問したところ、女性の回答者は全体の2%弱でした。(図-1)

2)技士会活動に関して：技術的な自己啓発を行うための活動として、社外の研修・講習会への参加希望が最も多かった。(図-2)

3)工事発注に関して：

①提出書類の簡素化については、見直しや改善はされてきているが、まだ改善は進んでいない結果となっていて、主に設計変更に伴う書類作成が3年前の調査と変わらず多い結果となっていた。(図-3)

②発注者側の不備等が感

じられ、発注者に最も改善を望むのは「設計変更等の適切な実施」「事前地元説明・折衝」が多かった。なお、設計変更の原因として最も多い回答は、国の場合「設計図書と現場が一致しない」でした。(図-4)
4)その他として：「設計変更ガイドライン」について、「設計変更ガイドラインは知っていて活用している」が約2割の回答で、「活用したことがない」「知らない」という回答が約8割もあった。今後、設計変更等の適切な実施を行うためにも、受・発注者共にもっと周知する必要がある。

4. おわりに

アンケートの結果は当会のHPに掲載しています。(http://www.ejcm.or.jp)

現場技術者の声として取り纏めたものですので、今後、土木施工管理技士会の活動を検討する基礎資料として活用されると共に、各方面で現場技術者の状況について、ご理解を賜るために活用されることを願っています。

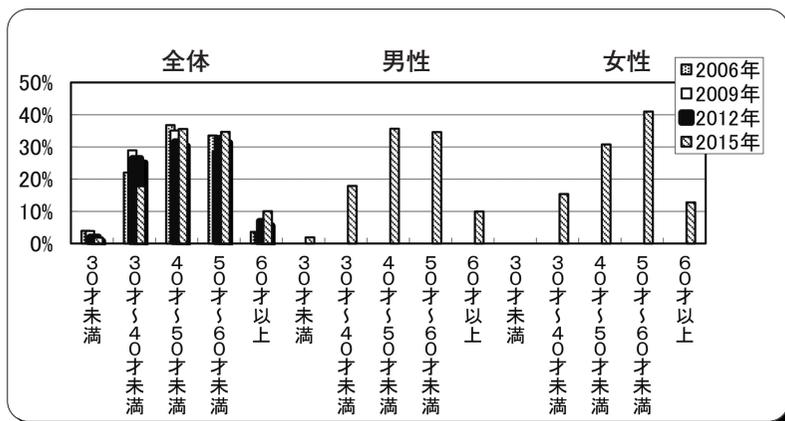


図-1 回答者の年齢構成

回答者数全体2,503名 (男性2,464名、女性39名)

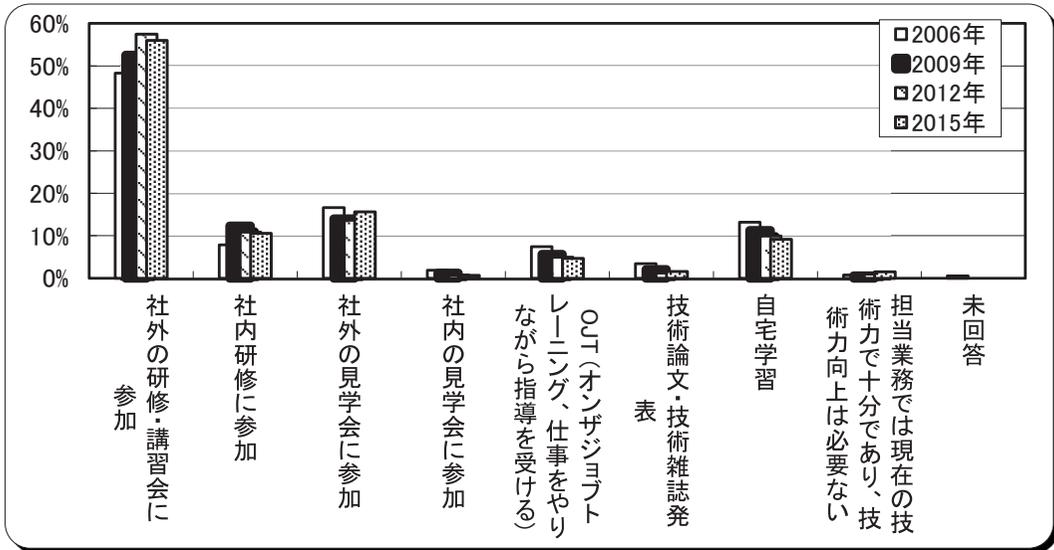


図-2 自己啓発を行う場合の活動

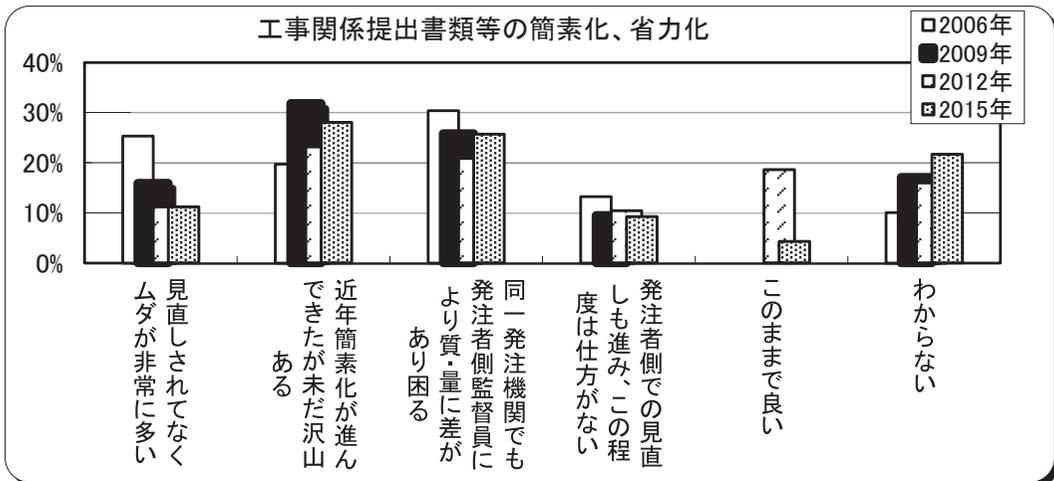


図-3 提出書類の簡素化

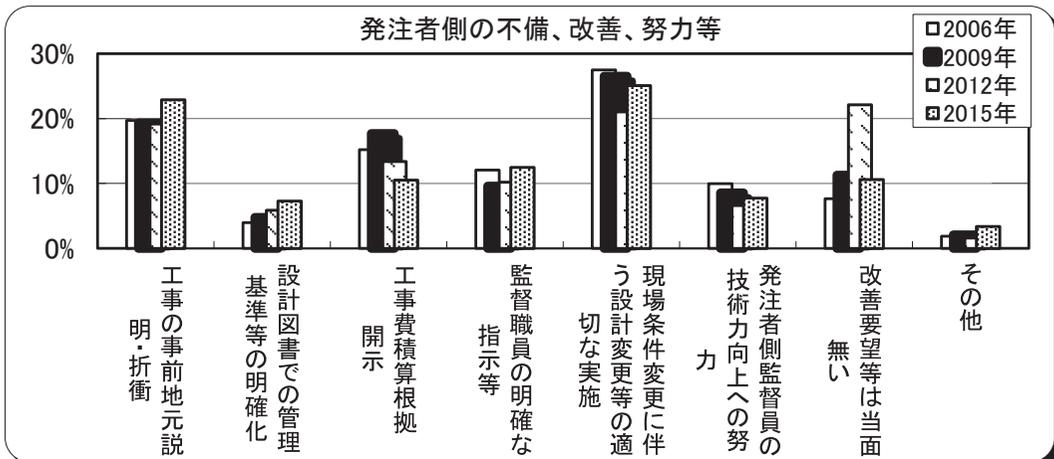


図-4 提出書類の簡素化